

第2章 北陸本線（余呉～敦賀）

第1節 旅プラン

- ① 2013年9月7日（土） 曇り
のぞみ303号（12号車12番D席） 新横浜 6時39発 → 新大阪 8時53分着
関西桜紫会総会・懇親会 二次会等に出席 東横イン新大阪中央日本館泊

- ② 9月8日（日） 小雨／曇り／晴れ
新大阪駅構内のコインロッカー（4215号）に荷物を預け、青春18きっぷ活用（4枚目）し、電車で近江今津まで移動
近江塩津＝近江今津（20.9km）踏破
近江今津から新大阪まで電車に乗り、新大阪駅構内のコインロッカーで荷物を取り、京都まで電車で移動。東横イン五条烏丸泊

- ③ 9月9日（月） 快晴
京都駅から米原駅まで電車（青春18きっぷ5枚目使用）で移動。米原駅のコインロッカー（7506）に荷物を預ける。そして、電車で敦賀まで移動。
敦賀＝木ノ本（23.5km）踏破
木ノ本から米原まで電車で移動。
ひかり532号（6号車9番D席） 米原 18時55分 → 新横浜 20時51分

第2節 1日目：9月7日（土）：関西桜紫会出席 晴れ

昨日、恒例のRひやく会（大学同窓の集まりの懇親会）があり、睡眠不足にも関わらず、4時前に起床。



昨晚粗方した3日間の旅行の持ち物を点検し、自宅を5時15分頃出る。家内に中央林間駅まで送ってもらう。そして、中央林間5時26分の電車で長津田（5時35分着）へ。長津田駅から二つ目のミスが発覚する。一つは9月5日（木）、新宿の切符の安売り屋で、新横浜＝新大阪購入すべきところ、誤って東京＝新大阪を購入する。料金が高い上に、二つ目のミスにつながる。すなわち、長津田から新横浜まで運賃210円が発生する。結局のところ、安売りで1,000位安くなったが、ミスが二つ重なり、正規の運賃とほぼ同じ結果となる。長津田5時46分の電車で新横浜には6時到着。そして、上記の新幹線で新大阪には8時53分に到着。駅前の東横インに荷物を預け、大阪駅前のホテルグランビア大阪まで移動する。ホテルには9時40分頃到着。



新横浜駅



新大阪駅

関西の皆様に出迎えてもらい感謝感激。杉本さん、大江さん、斎木さん、伊藤さん、大塚さん、巖さん、藤澤さん、正井さん、安次富さん、山本さん、中村さん、山下さん、高木さん、水澤さん、佐藤さん、田月さん、富野さん、植松さん、二俣さん、……。懐かしい同窓の顔があった。東西交流会、わいわい会、そして関西桜紫会で大半が知り合った。総会開始まで1時間位あったので、その間の時間を利用し、対面する方と世間話やわいわい道中記のPRをさせて頂く。有意義の時間であった。



ホテルグランビア大阪



平成25年9月7日（土）、ホテルグランビア大阪20階“鳳凰の間”で、関西桜紫会総会・懇親会が100余名の参加の下、盛大に実施される。私はこれで3回目の出席である。第1部（総会）の後、第2部（来賓挨拶とミニコンサート）がある。第1部では中條教頭先生

より、母校の進学状況等について説明あり。県下では本年も国公立への進学率は 52%でトップとのことであった。



多田野桜紫会会長挨拶



福家関東桜紫会会長挨拶



コンサート



森池日佐子さん (S41) と山下泰夫さん (S44) によるミニコンサートを聞き、高松一高の素晴らしい校風をまた知った。そして、12 時過ぎから待望の懇親会が始まる。沢山の同窓と親しくさせて頂く。坂本さんから 33 年組の仲間に宜しくとのメッセージを頂いていたので、懇親会が始まるや否や該当するテーブルに向かう。4 名の方の姿があった。すなわち、多田さん、三原さん、山田さん、葎谷 (よしたに) さん。あっという間に楽しい懇親会が過ぎ去る。おまけに抽選で 1,000 円の商品券を頂く。二次会はフコク生命ビル近くのカラオケ屋で。20 名近い参加あり。二部屋に分かれて楽しい 2 時間を過ごす。この店を 5 時頃出、斎木さん、山本さん、山下さん、宇賀神さんと一緒にさぬきうどんを食べに行く。この店で 30 分位懇談。宇賀神さんは新幹線に乗る関係でアップ。残りの 4 名で、ここ家に飲みに行く。ここで 2 時間位懇談。20 時半頃解散。東横インのホテル (318 号室: 宿泊代 6,156 円) には 21 時頃到着。ホテルで東京五輪の情報を耳にする。私の明日の 365 回目歩きの重

なり感無量。そして、明日の作戦を考え就寝。

第3節 2日目：9月8日（日）：湖西線（近江塩津～近江今津）

湖西線のため記載略

第4節 3日目：9月9日（月）：余呉～敦賀 晴れ

朝4時に起床し、本日の踏破について色々錯綜する。ひとつは、京都から敦賀までの移動の仕方。湖西線による直通で行く方法。それから、東海道本線で米原まで行き、そこから北陸本線の乗り換え敦賀まで行く方法。二つ目は、新横浜までのアクセスや新幹線に乗れる時間を考慮し、荷物を預けるコインロッカーを京都にするか米原にするか。三つ目は、敦賀から近江塩津までとするか、それとも余呉まで歩き、北陸本線である米原＝敦賀間をつなげるかどうか。仮に、近江塩津から余呉までの4.9 kmを残した場合、この区間の踏破の目途が立たない。加えて費用の他に別途1日に要す。色々自分なりに検討した結果、次のような方針で固まる。今考えると、いい決断をしたと自分を褒めてあげたい。

- ① 東横インの朝食は断念する。
- ② 東海道本線を活用し、米原で荷物を預ける。（新幹線に乗り継ぐまでの時間が省力化できる）
- ③ 湖西線はダイヤが少ない。
- ④ 敦賀から余呉まで踏破する。
- ⑤ 米原から新幹線で新横浜まで帰る。

そして、京都から敦賀までのダイヤは次の通り。

京都 6:28 → 米原 7:39

米原 8:04 → 敦賀 8:58



東横イン

京都駅へ

ホテルを6時前に出る必要があるため、準備を急ぐ。朝風呂は時間の関係でカットする。

ホテルから京都駅まで徒歩で15分位要する関係で、5時55分頃、ホテルをチェックアウトする。昨夜に引き続き、朝の京都タワーをデジカメに収める。「一期一会」の大切さ等を記した東本願寺の“いのちがあなたを生きる”の標語は、何度見ても感無量となる。私の“こだわり鉄道つたい歩き”の思いと同じなので。朝飯の購入のため、コンビニに立ち寄ったこともあり、6時20分頃京都駅に到着。



京都駅

青春18きっぷの5枚目の印を押してもらい、2番ホームへ。東海道本線を活用する方法で、敦賀に向かうコースを選定したため、電車でも琵琶湖一周を達成する。電車の窓から久しぶりに草津、野洲、近江八幡、彦根という駅名を耳にする。懐かしい限り。加えて、湖西線に比べ近代的な駅舎が続いていた。月曜日であったこともあり、電車は満員の状態であった。近江八幡や彦根で沢山の人が乗車または下車する。米原駅には7時39分到着。在来線改札口前のコインロッカー(7506)に荷物を預ける。



米原駅

敦賀行きの電車(ホーム)は、8時4分で20分位待ち時間があったので、朝コンビニに買ってきたおにぎり等を食べる。隣のホーム(6番)に8時9分発“特急しらさぎ51号”(金沢行)が入線してくる。アナウンスで「青春18きっぷではご乗車できません」とあり。将来この電車を活用し、北陸地方の鉄道を踏破したいものである。また、夢広がる。敦賀行の電車は、特急の到着後、10分位遅れてやってくる。7時56分頃だろうか。この電車は、敦賀方面からやってきた電車の折り返しであった。4両編成。

いよいよ、8時4分、電車は敦賀方面に向かって出発する。長浜で特急通過のため、5分

待ち合わせる。余呉まで数年前踏破した沿線であったので、当時苦勞した道のりが次から次と思い出してくる。余呉駅から少し行った先に余呉湖があった。余呉から近江塩津、新疋田、敦賀と殆どトンネルであった。それ故、鉄道路線を観察できず。新疋田から敦賀にかけて、工事中の橋桁が印象に残る。敦賀駅手前で、ルートインの看板がめにつく。日本海側の拠点となる敦賀には8時4分到着。感激した敦賀駅を構内や駅前の景色を色々デジカメに収める。敦賀駅前に東横インがあるのを発見し感動する。駅前の都怒我阿羅斯專隊の像が印象に残る。これからこのホテルを拠点として、北陸本線を踏破できるからである。米原＝敦賀が意外に近いのにはびっくり。



米原駅

敦賀駅



敦賀駅

駅前



都怒我阿羅斯專隊

東横イン

9時8分、駅で頂いた地図も参考にしながら新疋田に向け出発する。8月4日に購入したばかりのスマホのナビは、まだ慣れていないこともあり、使用しないこととする。9時15分、敦賀鉄道寮前を通過。これから、主として国道8号線を歩く。



敦賀鉄道寮

9時20分、122歩あるさのめ橋（深川）を通過。9時28分、布田（ぬのた）という地名で、山の上に数本の筋雲を見る。9時34分、松本零士がデザインにした漫画（銀河鉄道？）のバス停（長沢）前を通過。9時45分～9時59分にかけて、道路案内に惑わされ、国道8号線を離れる。9時47分、JR下を潜る。その先の交差点は坂ノ下とあった。どうもこの方向は間違いと思い、近くの住人に確認する。案内の定間違っていた。駆け足で戻って曲がったところまで戻る。9時59分であった。15分位ロスする。ここでもウォーキングの醍醐味を味わうことができる。



バス停長沢

岡山



敦賀工業高校の看板 名敦国道踏切

10時2分、岡山という地点で、京都96km、大津83km、長浜45kmの道路標識を目にする。10時5分、敦賀工業高校の看板前を通過。10時7分、国土交通省の温度計は27℃であった。10時8分、名敦国道踏切を横切る。10時11分、敦賀産業技術専門学院前を通過。10時15分、電車の窓から見た工事中の橋桁を頭上にする。10時19分、山陰本線の綾部につながる小浜線を横切る。依然として、北陸本線は左手側の山間にあり。



工事中の橋桁

小浜線

10時31分、JR線下を潜る。10時41分、小河口（おごうぐち）交差点を通過。10時58分、市橋交差点を通過。その近くの若狭路の看板を目にする。11時8分、疋田交差点に到着する。ここで30分位時間をかけ、国道8号線を離れ、161号線を通り、新疋田駅を目指すことにする。10時31分、JR線を潜る。工事中の看板には沢山の絵画が描かれていた。その中で、大津駅前にある西福寺の絵があった。思わず感動する。ここの標語は、感銘し、「こだわり鉄道つたい歩き」の書籍（創刊号・第2弾）の中に記載している故。新疋田駅には、11時26分に到着。愛発（あらち）地区の案内板があった。



疋田交差点



新疋田駅



ここから 26 分要して国道 8 号線に戻る。なお、新疋田の通りを真っ直ぐ進むと近江塩津には通らず、昨日踏破した湖西線の永原駅とマキノ駅の間に繋がる道路であった。11 時 50 分、敦賀市奥野で大垣 76 km、大垣 40 km、木ノ本 20 km の道路標識を目にする。11 時 56 分、奥野バス停前を通過。鉄道が全く見えない山間を歩き続ける。12 時 13 分、曾々木（そそき）という交差点で前方に高速道路が見える。かなり鉄道から離れた先（4 km）を只今現在歩いていることを、「Railway maple」で確認する。山間のため止むを得ないが。12 時 17 分、国土交通省の温度計は 26℃であった。12 時 38 分、奥麻生交差点を通過。この近郊の山水でタオルを浸す。暑くなりかけ体を冷やしてくれる。12 時 43 分、松ノ木峠橋を通過。12 時 45 分、金沢辺り（？）から 475 km 地点を通過。13 時 17 分、大垣 71 km、長浜 35 km、木ノ本 15 km 地点に到達。12 時 55 分、“ゆずりあい・おもいやり”交通安全／福井のこころという看板前を通過。13 時 10 分、その先の茅葺屋根の「孫兵衛」（民芸茶屋）で遅い昼食を摂る。値段は 1,050 円と高かったが、“ざるとろろ”はとても美味しかった。



疋田交差点まで戻る（長浜 41 km）



バス停奥野



松ノ木峠橋



孫兵衛

木ノ本駅行のバスが止まっていた。乗客はいないような感じであった。この孫兵衛を出る際、近江塩津駅までの情報をお尋ねする。ここは福井県、車だと 5 分位で行けるとのことであった。後 4 km 位はある感じであった。残念ながら、この店では地図から現在位置の確認はできず。この店を 13 時 27 分あとにする。13 時 34 分、福井県敦賀市から滋賀県長浜市となる。これからも山また山が続く。13 時 57 分、大津 98 km、長浜 29 km の地点に達する。14 時 8 分、民家が見えて来る。そして、収穫がもうすぐと思われる稲が現れる。近江塩津

駅が近いことを感じる。同時に左手方面にJR線を見かける。14時16分、八幡神社前を通過。近くに下沓掛（くつかけ）バス停（湖国バス）があった。近江塩津駅には14時47分到着。



県境



近江塩津駅

これで、当初考えたプランは終わるが、更なる目標を目指し、近江塩津から余呉まで歩くことにする。この追加は今朝急遽思いついたプランである。塩津駅で余呉までの路筋を聞くが、はっきりした回答を得ず。孫兵衛では余呉への道は木ノ本経由でないと難しいとの情報をもらっていた。それ故、余呉への路は多少不安を持っての歩きとなる。



塩津神社

近江塩津駅から昨日とは少し異なる路を歩く。すなわち、高架した鉄道を潜り続く国道8号線である。ここから地図を読み間違える。15時20分、塩津海道あちかまの里（道の駅）前を通過。北陸本線は山間を走る。それにも関わらず、湖畔に沿った路を歩く。鉄道は余呉湖の北側にも関わらず、歩く路は南側を歩く。3km位脱線する。勘違いもいいところである。いくら歩いても余呉湖や余呉駅が見えてこないはずである。以下、勘違いの道筋を通

り、木ノ本駅に向かうこととなる。数年前、余呉＝米原間の踏破の際、余呉駅で近江塩津駅への道筋を聞いたことがある。ハイキング的な山道はあるとのことであったが。15時36分、塩津神社。



藤崎トンネル



賤ヶ岳



賤ヶ岳トンネル

15時45分、980mある藤崎トンネル（万歩計1,648歩：所要時間14分）を通過する。16時2分、飯浦に出る。16時15分、850mある賤ヶ岳トンネル（万歩計1,448歩、所要時間10分）通過。トンネルを越えると木ノ本町大音であった。



左余呉湖



木ノ本駅界限

今地図で確認するととんでもない路を歩いたものである。鉄道に近づいて歩いていたら別の展開になっていたかも知れない。本年5月歩いた肥薩おれんじ鉄道の「御立岬公園たのうら＝上田浦」間の踏破を思い出した。この区間もはっきりした路がなかったことを。湖西線（山科＝近江塩津）、北陸本線（米原＝敦賀）の中で、もしかすると“近江塩津＝余呉”間がもっとも難しい難所かも知れない。余呉駅が見えないので、消防署前で余呉駅を

お尋ねすると、「随分遠いですよ。木ノ本駅であれば真っ直ぐ行った先にあります」との回答を得て、初めて自分が歩いたコースが勘違いしたとわかる。狐にでも騙されたような心境であった。運よくお尋ねした先から 10 分位歩いて踏切を越えた左に 200m位歩いた先に木ノ本駅（16 時 58 分）があった。駅前には賤ヶ岳古戦場の記念碑が建てられていた。この風景は数年前にも見たのでなつかしかった。そして、ゆったりとした駅舎、柴田勝家の鎧のポスト。強く印象に残っていた。



木ノ本駅

17 時 14 分の電車で米原駅へ。米原駅 18 時 55 分発ひかり 532 号の新幹線で自宅に向かう。祝杯をあげながら、新幹線の旅行を楽しむ。自宅には 21 時 53 分到着。本日の営業キロは 23.5 km、万歩計は 58,002 歩であった。



米原駅

今回のシリーズ、関西桜紫会の安次富美江子さんからの心温まるメールを何度も頂き感謝感激。この励ましにより、湖西線（山科＝近江塩津：74.1 km）、北陸本線（米原＝敦賀：45.9 km）の踏破が完成できたと。今回は東京五輪朗報の下で 365 回目を達成、そして 366 回では日本海側の今後拠点となる“敦賀”への路がつながり、さらに関西桜紫会総会でも「わいわい道中記」の PR もいい感触で終え、充実した 3 日間となった。関西桜紫会の各位にはこの紙面から厚く御礼申し上げたい。